

ガバナー月信 2025-2026 Vol.10



Rotary International District 2500

# Governor's Monthly Letter 2025-2026

**UNITE  
FOR  
GOOD**

よいことのために  
手を取りあおう

**Vol.10**

**2026.4.1**

Rotaryのことを熱く語ろう！  
～ Rotarian Benefits を紡ぎ、  
そして育むために～

佐渡ガバナーからのメッセージ

環境月間によせて

世界予防接種週間

北海道 (2500 地区) ロータリー史

地区補助金事業報告

米山奨学生レポート YOU はどうして 2500 地区へ？

富良野ローターアクトクラブの紹介

新入会員紹介・寄付者報告

例会出席率 & 会員数推移



2025-2026 年度  
国際ロータリー第 2500 地区  
ガバナー 佐渡 正幸  
(釧路北ロータリークラブ)

雪解けが進み、草花や山菜も芽吹き始め、春の訪れを感じる頃となりました。会員の皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

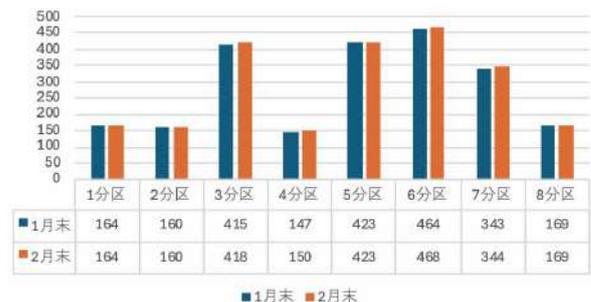
先月から始まりましたインターシティミーティング (IM) は、8・4・6分区の各ガバナー補佐、そしてホストクラブの皆様のご尽力により、すべて盛会で終了致しました。この場をお借りて改めて感謝申し上げます。IMにて各クラブの会長・幹事様をはじめメンバーの皆様との再会は、公式訪問の会長幹事懇談会、意見交換会、例会にて皆様と熱く語り合った一つひとつの感動がよみがえり、胸が熱くなる思いです。本当に多くの皆さまにお世話になり、私の年度も残すところあと3か月となりました。年度の完成と充実、そして次年度への承継に向けて、各クラブの活性化のために一層の「情熱と友情」をもって活動していく所存です。何卒よろしく願い申し上げます。

さて今月は「環境」が月間テーマです。本年度は各分区より推薦いただいた50歳未満の会員とロータリーアクトのメンバーで構成する社会奉仕委員が、地域や世界の環境問題を検証し、その保全活動の担いをしています。国際ロータリーにおいても、若手のロータリアンリーダーシップを発揮し、奉仕活動を実践していくことが重要であると昨今言われるようになってきてます。当地区としては、その先導を切って行動している社会奉仕委員会のこれからの活動をしっかりと支援し、ロータリーの重点分野のひとつである「環境」の保全活動を、地区全体で「よいことをやっぴいこう!」というRotarian魂を盛り上げていきたいと思っています。今、環境問題は「遠い未来の問題」ではなく、私たち自身の問題として現実のものになっています。気候変動や自然環境の変化は、すでに地域社会や私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。まさに「今、

行動するかどうか」が問われています。現状において大きなことを始める必要はないと思います。しかしRotarianの使命として、また「Rotarian Benefits」を紡ぐためにも、何もしないことは許されないと思います。明るい未来は待つものではなく、創るものです。一人ひとりの小さな行動が、大きな波「インパクト」を作ります。今月の環境月間においてクラブ内の会員が、環境についての地域のニーズを熱く語る時間を共有することにより、その第一歩となることを期待しております。結びに、本年度の残り3か月の各クラブの活動が一層活性化し、クラブ会長・幹事様をはじめメンバーの皆さまが、「会員増強→ファンドレイジング→奉仕事業の実践→公共イメージの向上」のサイクルの達成感・充実感・満足感を存分に感じて、Rotaryに対する「愛や夢や想い」が育まれること、そして会員皆さまのご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、今月のガバナーメッセージといたします。ありがとうございました。

## 2月末会員数

**2500地区合計 2296名**  
期首会員数 2205名から 91名増



**目標まであと204名!!**

# 環境月間に寄せて



2025-2026 年度  
国際ロータリー第 2500 地区  
社会奉仕委員会委員長  
**山岸 弘典**  
(釧路北ロータリークラブ)

## 2500地区の環境、その“当たり前”を、次の世代へ。



4月には国際ロータリーの「環境月間」です。今年度、佐渡ガバナーが地区の社会奉仕の重点として「環境」を掲げられた背景には、私たち第2500地区が、世界に誇るべき豊かな自然環境を抱え、その恵みの上に暮らしと産業が成り立っている、という事実があります。社会奉仕委員会では今年度、「環境問題への取り組み」を重点目標として活動してまいりました。環境については専門家や有識者たちだけが議論する問題ではなく、**私たちの日常と産業を支える土台**です。だからこそ今、ロータリーとして、地域の現場の声に耳を傾け、学び、行動につなげていきたいと考えています。

### 身近な環境問題としての「昆布の不漁」

つい先日、IMに参加させて頂いた第8分区分は、海・湿原・森が短い距離で連続し、ひとつの生態系としてつながっている地域です。

この“つながり”があるからこそ、漁業・酪農・観光・加工業など、私たちの産業が成り立っています。その象徴のひとつが「昆布」です。昆布は出汁をはじめ日本の食文化の要であり、近年は海外でも注目され、健康価値の研究も進んでいます。さらに藻場は「海の森」として多くの生物を育み、ウニを含む沿岸漁業にとって欠かせない基盤です。加えて、昆布はブルーカーボンとしてCO<sub>2</sub>を吸収する役割も担うとされ、環境面でも重要な存在です。

しかし、その昆布が今、危機に直面しています。近年、道東各地で不漁が続き、漁業者の方からは「夏の海が“お湯のようだ”」「このままでは次世代に残せない」といった切実な声も聞かれます。背景には、海水温の上昇、潮流の変化、栄養塩の不足、そして赤潮など、複合的な要因が指摘されています。

昆布の不漁は、漁師だけの問題ではありません。加工、流通、飲食、観光へと波及し、地域の経済と暮らしを揺るがします。つまりこれは、“自然の変化”が“地域社会活動の継続”を脅かしている具体例なのです。

**海洋プラスチックごみ問題を「学び」から「行動」へ**もう一つ、私たちの海で見逃がせないのが、海洋プラスチックごみの問題です。

海岸や河川敷に流れ着くごみの多くは、日常の暮らしの中から生まれたものです。拾ってみると、想像以上の量に驚

かされます。そしてそれは、やがて細かくなり、マイクロプラスチックとして海に残り続ける可能性があります。この問題を“自分ごと”として理解するために、現在、**海洋プラスチックごみ問題を扱ったオンラインセミナーがWEB上で視聴可能**となっています。忙しい中でも、各クラブ・各会員が「まず学ぶ」ことから始めていただければ、次の行動がより意味のあるものになります。社会奉仕委員会としても、視聴を通じた理解の共有が地区の力になると考え、受講を強くおすすめいたします。

### 年度末に向けた「地区一斉」海浜・河川清掃の計画

社会奉仕委員会では、年度の終わりに、**全分区分一斉の海浜・河川のごみ拾い**を計画しています。

ロータリーの強みは、「人と人」「地域と地域」をつなげられることです。

同じ時期に、同じ志のもと、各地で汗を流す——それは単なる清掃活動にとどまらず、地区の一体感を育み、奉仕の喜びを共有する機会になります。

昨年10月には、白糠町を拠点とした海浜清掃を実施し、ロータリアンに加え、ローターアクトやインターアクト、一般参加者も含めた多くの方が参加してくださいました。現場でごみの量を目の当たりにすると、環境問題が一気に現実味を帯び、“次もやろう”という気持ちが生れます。こうした体験の積み重ねが、地域にとっての財産になると実感しています。

### 結びに

第2500地区の自然は、ただ美しいだけではありません。それは産業を支え、暮らしを支え、そして子どもたちの未来を支える“土台”です。けれど、その土台は決して不変ではなく、昆布の不漁や海洋ごみの問題として、すでに変化の影が見えています。

だからこそ私たちは、**身近な課題を知り（学び）、共有し（つながり）、できることから動く（行動する）。**

このロータリーらしい循環を、地区全体でつくっていききたいと思います。

社会奉仕委員会委員長として、環境月間が、私たち一人ひとりの「次の一歩」につながることを願っています。

# 私たちが止まれば、ウイルスが動き出す 今、終わらせる



ロータリアンの皆様へ

4月24-30日は「世界予防接種週間」  
世界予防接種週間。これは単なる啓発の期間ではありません。40年前に私たちが世界と交わした「ポリオのない世界を作る」という約束を果たすための1週間です。皆様の寄付は、単なる金銭的な支援ではなく、未来の子どもたちが「ポリオ」という言葉を辞書でしか見なくなるための、最後のピースです。ポリオワクチン接種に対しての理解を深め、寄付をお願いしましょう。



第1地域  
ポリオ根絶  
コーディネーター  
松田 英郎  
(富良野ロータリークラブ)



## 2500 HISTORY 北海道 (2500地区) のロータリー史 その5

昔から、会員増強と会員の質の問題は、侃々諤々議論が繰り返されてきました。組織を永続的に存続させるには新陳代謝が必要で、若い会員を入会させて教育することや、新しいクラブを作って地域を拡大することは、私達会員に課せられた使命でもあります。この時代は、ロータリーの成長期に当たり、各地で新クラブの設立を行いました。既存のライオンズとの競合は、まさに会員の取り合いになったものと思います。

また、伝統あるクラブでは、古くから在籍する会員の力が強く、やる気のある若手会員の意見が通らずに会を辞めていく、または他クラブに移籍することがあったとも聞いています。

私の在籍する釧路北クラブの設立はまさにその典型例でありました。釧路クラブで血気盛んな会員7人が移籍し、それに新規会員が加わり、総勢23名のチャーターメンバーで設立されました。

その中には、350地区で最初に釧路からガバナーに就任した両角克治氏や、浜中ロータリークラブの特別代表であった橋本雄介氏らも加わって設立総会をしたと聞いております。350地区が北海道全地域を統括していた時代にガバナーに就任した両角 PDG が、釧路北クラブの設立に際して、自ら移籍して来ることなど実際には考えられません。余程の事があったものと推察しています。

釧路北クラブで二人目のガバナーとして坂本一氏が選出された時、会員一同坂本ガバナーに恥をかかせられない。どうすれば坂本ガバナーの実績を残せるかと様々議論し、その結果出された結論が新クラブを作る事でした。その為、クラブ会員は子クラブである釧路西クラブに声をかけ、新しいクラブを作ることを決意しました。移籍するメンバーの一人として私にも声がかかりましたが、推薦者の一人である坂本ガバナーから待たがっかり、当時クラブの重鎮であった釧路市医師会議長の梯二郎先生が、先陣を切って移籍して下さって釧路ベイロータリークラブが誕生しました。

この時、移籍したメンバーには、のちにガバナーに就任した葎本正美ガバナー、漆崎隆ガバナーのお二人がいたことも付け加えておきます。このお二人は本当にロータリーを愛し、釧路北クラブでも素晴らしい活動をしておりました。

さて、話を元に戻します。この当時釧路では、釧路クラブしかありませんでしたので、入会できなかった人たちはライオンズクラブに入会して、ライオンズクラブが急速に拡大しました。ロータリーの入会には、一業種一人の原則があり、それが足枷となってなかなか新入会員が増えない現実を RI は危惧し、その後はアディショナル会員や、シニア・パストサービス会員などいろいろなジャンルを作成して会員増強を行いました。しかし、現在は正会員と名誉会員に統合されています。

また、会員の質を維持することに於いては、ロータリーの哲学（特に職業奉仕と言う概念）を勉強する事に基本が於かれ、奉仕の実践に関しての一番良い教材である決意23-34の他に、ロータリーの目的（綱領）、ロータリー道徳律、四つのテスト、職業奉仕に関する声明（1987年制定 手続要覧2010）、2大モットー、職業奉仕に関する声明（ロータリー章典2014）、ロータリアンの職業宣言（1989年～2010年）決議10-182、奉仕の哲学、ロータリーの行動規範（2011年改編）、（2014年改編）等様々な教材があるわけで、私達のクラブではこれらの基本的な考えやその変遷をアカデミー塾を開催して研修しております。ただ会員を増やしただけでは、「仏作って魂入れず」になってしまいますので、野放しはいけません。やはり、ロータリー理論をしっかりと勉強してもらうことを、会員拡大と同時に進めなければ、単なる昼食会だけのクラブになってしまいます。まずは基礎になる幹を太くすること、そしてそれが成長して大樹になった時に風雪に耐えられる下地作りが大切であると考えます。

# 2500 HISTORY

## 北海道（2500地区）のロータリー史 その6

今月は例会出席に関する討論です。今ロータリーの例会は柔軟性の導入により、月2回（2回以上）が可能になり、何かのイベントを例会として数えることも可能となりました。しかし、この当時はやはり、出席率を大変重要視しておりました。この出席率は、一応日本事務局に報告しますが、特に RI に報告する義務はありませんので有名無実化した感があります。しかし、京都クラブ等の伝統あるクラブの出席率は大変厳しいとも聞いております。

### ◆例会出席

道下（第7分区）：小さなクラブの弱点としては出席率の問題があります。小さな町ですと会員一人一人が多くの公職をもっていて、諸会合とロータリーの会合がだぶってしまうということも出席率が落ちる点であります。これは小さなクラブの最大の弱点ですね。

宮地（第4分区）：例会出席はロータリークラブの原点ですが、病気などによる欠席で出席率が下がるのは、皆でカバーしなければなりません。その他の理由で欠席した場合は「メーキャップできるのにしない。」ということは厳につつしむべきことと思います。入会前の教育では特に出席義務については、本人の理解をとりつけるべきだと思います。

大野（第一分区）：稚内の 100% 出席の会員が政府代表の一員として、ソ連に長期出張した例があり、メーキャップしようにもできないという場合があります。

近藤（ガバナー）：公的な仕事で行くのですから、きちんと欠席届を出されて行かれた方がよいと思います。そのことによってクラブの出席率が多少落ちたとしても、そこは国家のために奉仕をするのだから会員全員が、好意と友情をもって理解すべきだと思います。

藤堂（第3分区）：私は国際大会にいつも参加させてもらっていますが、それは RI 会長から直接教えを受けたいと思って参加しています。国際大会で「人間に威信を」というターゲットを示されましたが、それはロータリーを隠れ蓑にするのではなく、ロータリーの組織が、一人一人の力で向上して行くよう努めなければならぬと教えられました。

大野（司会）：まだまだご意見もあろうかと思いますが、時間の関係でこの辺で終了させていただきます。これらの問題点を都市討論会などで検討され、今後のより良いロータリー活動の指針と致したいと考えます。本日は大変ありがとうございました。

昔からロータリーは例会出席に厳しいとよく言われます。ロータリー会員が守らなければならない3つの根本原則は、例会出席、会費納入、雑誌購読です。

しかし、今はこの原則を破って退会させられるのは、会費未納入だけとなりました。

例会出席が厳しいのは、ロータリー活動の中核を成す重要項目が親睦であったからです。まずは例会に出席して、お互いに顔を付

きわけて親睦を図りながらいろいろな社会問題を勉強する。職種の異なる会員が集まって話し合いを持てば、そこから良いアイデアが生まれるであろう。このことからロータリーの奉仕は始まるのだという考えが奉仕活動の根幹にあったからです。

そうであるなら一週間に一回くらいの例会に出て来られないようでは、会員になる資格がないという意見や、出席できないのであればメーキャップすれば良いでしょう、といった意見が出てきます。つまり、自分たちと同じ考え方に会員を染めて（教育）いくことで品位を保ち、秩序を維持したわけです。しかし今はどうでしょう。インターネットが普及し、例会は SNS で参加してもいいですよ。忙しい時は欠席も仕方ないですね。会費だけきちんと払っていただければ、うるさい事は言いません。退会されたら困りますというロータリーになってきました。例会に来る服装はTシャツ、ジーパンでも誰も文句を言いません。ロータリー徽章を付けてこない会員はざらにいます。仲間なのだから楽しくやろうよと言うのが今のロータリーです。古参のロータリアンは、厳しいことを言て会の雰囲気壊したくない。せっかく会長幹事が頑張っているのだからその程度の事には目を瞑ろうという気配りなのかもしれません。

私が過去、釧路市内の小学校、中学校のPTA会長をしていた時、卒業式、入学式にジャージ姿で参加していた教師がいたくらいですから、教えられた子供はそれが良い事だと思ってしまうでしょう。親の躾、学校の教育がその人の人格を形成し、社会での教育で人の道や倫理観、社会常識を学びます。このことをしっかり研鑽しなければ、人の上に立って地域のリーダーになった時、はたまた一国の代表となって外国に出た時に恥をかくことになるのです。昔から日本民族の根幹にあった識字率の高さ、教養、教育レベル、謙譲の美徳、長幼の序、等の品格はどこにいったのか？アメリカナイズされてきた日本人は、この先トランプ大統領のようなアメリカ人を尊敬し、頭を下げてすり寄るのでしょうか？

明治の人間が日本の基礎を作り、大正の人間が発展させ、昭和の人間が低迷させたと言われますが、まさに物言わぬ私達昭和世代の人間が、この先日本をどのように導いていくか、将来を憂うばかりです。これからは平成の人間、令和の人間に日本の将来を託していくわけですが、このゆとり世代、ミレニアル世代、Z世代の人たちの個人主義的な考え方で日本の将来はどのようになるか？日本人としてのアイデンティティを失わないように的確な指導をするのは、私達昭和世代の人間に託された使命であろうと考えます。改めて研修の伴わないロータリーは、単なる仲良しクラブであると考えさせられる貴重な資料でした。



国際ロータリー第2500地区

パストガバナー  
〈2008-2009 年度〉

足立 功一

（釧路北ロータリークラブ）

# 地域に根ざす奉仕の実践 地区補助金事業報告

## 旭川南ロータリークラブ

旭川南ロータリークラブは、「2025年度第6回北海道中学軟式野球選抜大会 旭川南ロータリークラブカップ」を、2025年9月27日・28日の2日間にわたり旭川ドリーム球場ほかで開催した。本大会はコロナ禍を契機に「中学3年生に最後の舞台を」との思いから始まり、北海道チャンピオンシップ協会との共同開催により実施された。道内各地から選抜された10チーム、211名の選手が参加し、稚内から函館まで広い地域から集結。仲間とともに最後の大会に全力で挑む姿が各会場で見られた。試合は白熱した展開となり、投打ともに見応えのあるプレーが繰り広げられ、観客にも強い印象を残した。礼儀正しさや仲間を尊重する姿勢も随所に見られ、スポーツを通じた人間形成の場としての価値が改めて確認された。地域を越えた交流の機会ともなり、選手同士の絆を深める場としても意義深い大会となった。次代を担う世代にとって、記憶に残る貴重な経験となった。今後も継続的な開催を通じ、青少年育成に寄与していくことが期待される。地域スポーツ振興にもつながる。



## 上川ロータリークラブ

上川ロータリークラブは、創立50周年記念事業として、2025年9月25日、同年4月に開園した上川町認定こども園「ここふれ」に対し、50インチ液晶テレビおよびクリスマスツリーを寄贈した。贈呈式では町長へ目録を手渡し、クラブ会員8名が出席。その後、施設の利用状況を確認した。同園は町内の保育所と幼稚園を統合し、教育と保育を一体的に提供する幼保連携型認定こども園であり、地域の子育て支援機能も担っている。11月5日にはクラブ会員がクリスマスツリーの飾り付けを行い、事業を完了した。テレビは日々の保育や行事で活用され、視覚的な学びの充実に寄与するほか、ツリーは季節行事を通じて子どもたちに喜びと豊かな感性をもたらすことが期待される。本事業は、安心して過ごせる環境づくりを支え、地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を後押しする取り組みとなった。



## 帯広南ロータリークラブ

帯広南ロータリークラブは、「帯広盲学校と合同防災学習実施計画」として、2025年9月29日、帯広盲学校にて社会奉仕・職業奉仕委員会合同例会を開催した。会員を含む42名が参加し、学校長およびクラブ会長の挨拶の後、防災グッズ一式の贈呈を行った。続いて講師を招き、防災訓練を実施。段ボールベッドの制作、毛布搬送、非常用電源の活用方法などを教師・生徒とともに体験した。さらに生徒主体による防災クイズや、非常用トイレの使い方、ラップを活用した止血法、ペットボトルライトの作成など、実践的な内容が展開された。視覚に配慮した防災知識の共有を通じて、災害時の対応力向上と相互理解が深まる機会となった。本事業は各メディアにも取り上げられ、地域におけるロータリー活動の認知向上にも寄与した。学校と連携した実践的な防災教育として、継続的な取り組みが期待される。地域に根ざす奉仕の実践として意義深い。



補助金事業が終了したクラブは報告書とお写真をガバナー事務所まで送付をお願いいたします。

各地で頑張る米山記念奨学生レポート

# Youはどうして2500地区へ?

## Why did you come to district 2500?

### リマルサ ハニンナコンサ マルゴノ

(世話クラブ / 北見西ロータリークラブ)

## ロータリーとの 出会いから得た 成長と学び

私は米山記念奨学会の奨学生として日本で留學生活を送る中で、ロータリークラブとの出会いを通して多くの成長と学びを得ることができました。学業だけでは得ることのできない人との交流やつながりが、留學生活をより充実したものにしてれています。北見西ロータリークラブの皆さまには、日頃より温かいご支援とご配慮をいただいております。心より感謝申し上げます。

毎月の例会に参加する中で、多くの貴重な学びを得ております。例会では卓話の機会をいただき、北見西ロータリークラブでの経験や母国インドネシアについて紹介させていただきました。その際には、イン

ドネシアの伝統衣装であるケバヤ (kebaya) を着用し、文化の一端をお伝えしました。また、カウンセラーの小泉ユリカさんをはじめ、ロータリークラブの西村さん、高田さんが、インドネシアの伝統的な服であるバティック (batik) を一緒に着てくださり、温かい雰囲気の中で卓話を行うことができました。この経験は私にとって非常に印象深く、心に残るものとなりました。

また、10月に開催された地区大会では、他の奨学生の方々との交流の機会があり、互いの留學生活や学業について意見を交わすことができました。同じ立場の仲間と交流できたことは、大きな励みとなり、思い出に残る有意義な経験となりました。

現在は情報学を専門として学業に真剣に取り組む、将来に向けて知識と技術の習得に努めています。ロータリークラブでの活動を通して学ばせていただいた、人とのつながりの大切さや支え合う心を忘れず、今後の学業および社会生活に生かし、将来的には周囲の方々に支えられる存在となるよう努力



各地で頑張る米山記念奨学生レポート

# Youはどうして2500地区へ?

Why did you come to district 2500?

李 子朔 (リ シサク)

(世話クラブ / 網走ロータリークラブ)

今回、卓話として「私の故郷・中国山東省濰坊市（いほうし）」について発表する機会をいただきました。濰坊は「風箏の都」として世界的に知られ、国際風箏会や国家級非物質文化遺産に登録された伝統的な風箏技術を有する、文化と歴史の深い都市です。発表では、こうした風箏文化に加え、木版年画をはじめとする民間芸術や、地域に根付いた食文化について紹介しました。

特に、故郷の美食を紹介した際には、多くの方が強い関心を示してくださり、「とてもおいしそう」「機会があればぜひ食べてみたい」といった感想をいただきました。自分にとっては日常的な料理でも、他国の方にとっては新鮮で魅力的に映ることを知り、改めて故郷の良さを実感しました。

今回は時間の関係で十分に紹介できませんでした。濰坊には他にも多くの伝統文化や民俗芸術が受け継がれています。もし時間に余裕があれば、そうした文化についてもさらに詳しく紹介し、より多くの方に私の故郷を深く知っていただきたいと考えています。外国人留学生として、このような交流の機会を大切に、文化を通じて人と人をつなぐ架け橋になれるよう、今後も努力していきたいと思えます。

※濰坊市（いほうし）は山東省中部に位置し、東は青島市、煙台市と隣接し、西は淄博市、東營市、南は臨沂市、日照市と接し、北は渤海の萊州湾に面する、人口約 940 万人の歴史文化都市です。（Wikipedia より抜粋）





## 2500地区ローターアクトクラブのご紹介

### 第6回 富良野ローターアクトクラブ



富良野ローターアクトクラブ 会長  
篠澤 宏知

2025-2026 年度 富良野 RAC で会長をさせていただいております篠澤 宏知と申します。

当クラブに入会をして今年度で7年目、3度目の会長をさせていただきますいております。

富良野 RAC は2月末時点で男性会員8名・女性会員が4名の計12名で活動しております。

今年度のクラブテーマは「Imagine」。日本語訳すると「想像する」という意味合いになり会員一人一人が様々な課題に対して頭の中でイメージや理念の形成をし、個々が「考えた力」を使い、これからの物事に挑戦してほしいという願いからこのクラブテーマを掲げさせていただき、日々活動をさせていただいております。

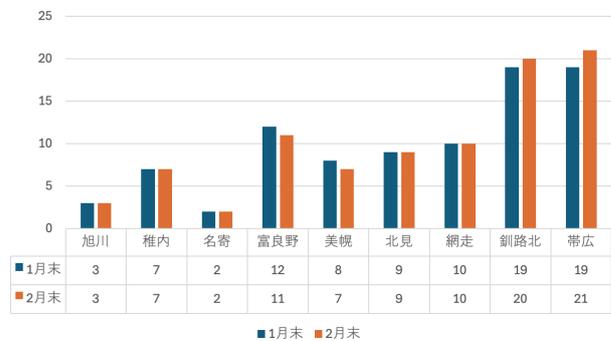
今年度は新たな取り組みとしてスポンサークラブである富良野 RC の夜間例会の出席や地域のボランティア活動にも例年以上に積極的に会員それぞれが参加しており、富良野 RAC の活動が地域の皆様方に知っていただくと同時に支えられ、今日の活動ができていることに感謝しております。

6月6日には当地区の RAC 地区大会が開催され、富良野 RAC がホストクラブとなり開催をさせていただきます。この1年の集大成を富良野 RAC 会員一同、一丸となって盛り上げ、開催をさせていただきますので皆様方のご登録・ご参加をお待ちしております!



### ローターアクト会員数の増減

地区別の2月会員数



2026年2月末現在会員数90名  
目標純増会員数 54名  
目標純増率60%

目標まで  
あと47名!

# Welcome to Rotary!

## 新入会員紹介



【第3分区分】旭川ロータリークラブ

**嵯城 俊明** (さじょう としあき)  
薬剤師  
1963年7月23日生 / 2月20日入会

最近の社会問題としてメンタルヘルスに課題を抱える若者が、OTC 医薬品や向精神薬を多量に服用するオーバードーズの問題が深刻化しています。精神的苦痛から逃れようとする若者は非行歴がない一方で、「居場所」を求めるかのようにオーバードーズを繰り返します。若者に対して「決してひとりじゃない。君たちの居場所はちゃんと、ここにある」などの温かいメッセージを添えて伝えることが、今まさに求められているのではないのでしょうか。依存症は一つの疾患であり、我々ロータリアンが果たすべき役割は数多くあるはずです。



【第5分区分】網走西ロータリークラブ

**辻 美也子** (つじ みやこ)  
保険業  
1974年6月13日生 / 1月8日入会

活動を通して、いろいろな方々と交流し、親睦を深に地域の根ざした成長をしていきたいと思っています。



【第6分区分】帯広ロータリークラブ

**小沼 大介** (こぬま だいすけ)  
宿泊業  
1971年2月1日生 / 2月25日入会

皆様と一緒に帯広に活気ある場所にさせるべく入会しました。宜しくお願いたします。



【第7分区分】釧路北ロータリークラブ

**佐藤 昌生** (さとう まさお)  
清掃業  
1973年9月11日生 / 2月4日入会

奉仕の機会を得た事に感謝致します。皆様とのご縁を大切に色々と学ばせて頂きたいと思っております。

## 寄付者報告

### ロータリー財団

【第6分区分】帯広南ロータリークラブ

**花房 浩一** (はなぶさ こういち)  
【寄付月日】2025年12月23日  
【寄付種類】MPHF+7

### 米山功労者

【第3分区分】旭川西ロータリークラブ

**本間 公浩** (ほんま きみひろ)  
【寄付月日】2026年2月3日  
【米山功労者】1回

### 米山功労者

【第6分区分】帯広ロータリークラブ

**合田 倫佳** (ごうだ のりよし)  
【寄付月日】2025年12月31日  
【米山功労者】4回

### ロータリー財団

【第6分区分】帯広南ロータリークラブ

**進藤 直哉** (しんどう なおや)  
【寄付月日】2026年1月28日  
【寄付種類】MPHF+3

### 米山功労者

【第3分区分】旭川北ロータリークラブ

**土田 晃** (つちだ あきら)  
【寄付月日】2026年2月5日  
【米山功労者】5回

### 米山功労者

【第7分区分】釧路北ロータリークラブ

**平井 昌弘** (ひらい まさひろ)  
【寄付月日】2026年2月10日  
【米山功労者】4回

### 米山功労者

【第3分区分】旭川西ロータリークラブ

**坂下 薫** (さかした かおる)  
【寄付月日】2026年2月3日  
【米山功労者】3回

### 米山功労者

【第3分区分】旭川北ロータリークラブ

**佐藤 彰真** (さとう あきまさ)  
【寄付月日】2026年2月5日  
【米山功労者】1回

## 物故会員



【第2分区分】名寄ロータリークラブ

**吉田 肇** (よしだ はじめ)  
耳鼻咽喉科  
2026年2月9日逝去 (享年80歳)

昭和55年 入会  
平成17年 会長

昭和56年 ボールハリスフェロー  
昭和62年 マルチプルボールハリスフェロー+1  
平成12年 マルチプルボールハリスフェロー+2  
令和6年 マルチプルボールハリスフェロー+3

# 例会出席率 & 会員数推移 (2026年2月末報告)

分区	クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
				前月	当月	増減	女性会員	入会	退会
1	礼文	1	62	13	13	0	0	0	0
	利尻	2	71	22	22	0	2	0	0
	利尻島	2	60	14	14	0	1	0	0
	天塩	1	56.3	16	16	0	3	0	0
	豊富	2	100	20	20	0	1	0	0
	稚内	3	60.9	42	42	0	2	0	0
	稚内南	3	82	37	37	0	1	0	0
				164	164	0	10	0	0
2	美深	3	90	29	29	0	1	0	0
	枝幸	3	54.1	24	24	0	0	0	0
	名寄	4	69.125	52	52	0	2	0	0
	中頓別	2	68	11	11	0	0	0	0
	士別	3	84.85	44	44	0	1	0	0
			160	160	0	4	0	0	
3	旭川	3	-	99	100	1	11	1	0
	旭川東	2	-	28	28	0	0	0	0
	旭川北	3	-	51	53	2	4	2	0
	旭川南	2	-	30	30	0	2	0	0
	旭川西	3	-	45	45	0	5	0	0
	旭川東北	2	-	18	18	0	1	0	0
	旭川MRC	2	-	23	23	0	4	0	0
	旭川空港	2	80	13	13	0	2	0	0
	美瑛	3	-	32	32	0	1	0	0
	富良野	3	68.8	47	47	0	3	0	0
	上川	3	-	11	11	0	1	0	0
	2500E	2	47.2	18	18	0	3	0	0
			415	418	3	37	3	0	
4	遠軽	3	75.7	45	45	0	3	0	0
	紋別	4	58.51	34	34	0	3	0	0
	紋別港	4	72.6	26	29	3	3	3	0
	興部	3	73.3	15	15	0	1	0	0
	雄武	3	71.79	13	13	0	0	0	0
	滝上	3	83.3	14	14	0	1	0	0
				147	150	3	11	3	0

第2500地区	前月末 会員数	当月末 会員数	増 減	平均出席率
	2285	2296	11	65.83
女性会員数	180	182	2	

分区	クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
				前月	当月	増減	女性会員	入会	退会
5	網走	2	61.14	52	52	0	6	0	0
	網走西	3	64.2	54	54	0	3	0	0
	美幌	4	86.5	53	53	0	5	0	0
	北見	3	70.3	64	64	0	8	0	0
	北見東	2	73.69	48	48	0	3	0	0
	北見西	3	84.7	69	69	0	6	0	0
	清里	2	75	31	31	0	0	0	0
	留辺蘂	3	61.9	22	22	0	0	0	0
	斜里	2	63.33	30	30	0	4	0	0
				423	423	0	35	0	0
6	足寄	2	58.6	25	25	0	2	0	0
	広尾	1	54.2	12	12	0	0	0	0
	上士幌	3	53	15	15	0	0	0	0
	芽室	2	85	20	20	0	1	0	0
	帯広	3	59.9	89	89	0	11	0	0
	帯広東	3	55	35	36	1	3	1	0
	帯広北	3	53.57	58	58	0	3	0	0
	帯広南	3	73.85	65	65	0	8	0	0
	帯広西	3	65.1	84	86	2	9	2	0
	音更	4	68.4	42	42	0	6	0	0
	清水	2	65	19	20	1	2	1	0
				464	468	4	45	4	0
7	釧路	4	50.8	106	106	0	0	0	0
	釧路東	3	52	29	29	0	0	0	0
	釧路北 (サテライト) (ルミナス)	3	63	14 10	14 10	1	7 10	1	0
	釧路南	3	58	27	27	0	5	0	0
	釧路西	2	55	27	27	0	2	0	0
	釧路ベイ	3	50	20	20	0	2	0	0
	音別	3	80.1	15	15	0	0	0	0
	白糠	4	90.9	11	11	0	1	0	0
				343	344	1	34	1	0
	8	厚岸	2	71	14	14	0	0	0
浜中		4	65	10	10	0	0	0	0
中標津		2	29.6	49	49	0	4	0	0
根室		2	71	31	31	0	0	0	0
根室西		2	53.4	47	47	0	1	0	0
弟子屈		2	63	18	18	0	1	0	0
			65.83	169	169	0	6	0	0
			2285	2296	11	182	11	0	